

環境保全行動 報告提出書  
自動車使用管理実施

2023 年 7 月 31 日

(宛先) 札幌市長

提出者 住所	〒 064-0810 札幌市中央区南10条西10丁目1番15号
氏名	北海道三菱自動車販売株式会社
(代表者名)	代表取締役社長 村脇 学
(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)	

札幌市生活環境の確保に関する条例 第13条第4項 第23条第3項 の規定により、環境保全行動自動車使用管理実施

報告書を提出します。

報告期間	2022 年 4 月 1 日 ~ 2023 年 3 月 31 日	
事業の規模	従業員数	278 人
	使用床面積	13,733 m <sup>2</sup>
	事業所数	12 事業所
	温室効果ガス排出量 (二酸化炭素換算排出量)	1890 t-CO <sub>2</sub>
	エネルギー起源CO <sub>2</sub>	メタン
	非エネルギー起源CO <sub>2</sub>	PFC
		N <sub>2</sub> O
		SF <sub>6</sub>
		HFC
		NF <sub>3</sub>
		#VALUE! t-CO <sub>2</sub>
		t-CO <sub>2</sub>
報告書の担当部署	担当部署名	
	担当者氏名	
	電話/FAX	
	電子メールアドレス	
計画書提出根拠	条例第13条(環境保全行動計画)	<input checked="" type="checkbox"/> 第1項 <input type="checkbox"/> 第3項
	条例第23条(自動車使用管理計画)	<input checked="" type="checkbox"/> 第1項 <input type="checkbox"/> 第2項
計画期間	2022 年 4 月 1 日 ~ 2025 年 3 月 31 日	
環境保全行動自動車使用管理実施 報告書	別添のとおり	
備考		

- 注 1 従業員数、使用床面積及び自動車使用台数は、報告に係る年度の3月31日現在で記入してください。
- 2 事業所数は、報告年度に係る年度の3月31日現在の札幌市内事業所数を記入してください。
- 3 燃料・熱・電気の合計量は、報告に係る年度に使用した量を原油換算して記入してください。
- 4 原油換算の方法は、エネルギーの使用の合理化等に関する法律施行規則第4条に規定する方法により行ってください。
- 5 温室効果ガス排出量は、地球温暖化対策の推進に関する法律第2条第5項で規定する方法により、二酸化炭素排出量に換算したものを記入してください。
- 6 のある欄には、該当する内にレ印を記入してください。
- 備考 この様式により難いときは、この様式に準じた別の様式を使用することができる。

別添

環境保全行動報告書  
自動車使用管理実施報告書

1 行動目標の達成状況

【計画期間】

2022年 4月 1日～ 2025年 3月 31日

【報告期間】

2022年 4月 1日～ 2023年 3月 31日

行動目標	基準数値	目標削減率	2022年度結果			2023年度結果			2024年度結果		
			実績数値	削減率	結果	実績数値	削減率	結果	実績数値	削減率	結果
事業活動に伴う二酸化炭素排出量の削減	1270 t	3 %	1290 t	▲ 2 %	×						
自動車の使用に伴う二酸化炭素排出量の削減	526 t	3 %	594 t	▲ 13 %	×						
廃棄物排出量の削減	376 t	3 %	414 t	▲ 10 %	×						
		%		%							
		%		%							
		%		%							

注 1 実績数値が基準数値よりも増加した場合は、削減率の数値の前に▲を記入してください。

2 結果の欄には、以下のいずれかを記入してください。

○：目標削減率を達成

△：実績数値が基準数値よりも削減されたが、目標削減率は未達成

×：実績数値が基準数値よりも増加

2 行動目標達成・未達成の理由

行動目標	結果	理由
事業活動に伴う二酸化炭素排出量の削減	×	LED照明への変更並びに不要な照明や機器の消灯に努めたが、電気自動車の販売増に伴い電力使用量の増加となり、目標未達となった。
自動車の使用に伴う二酸化炭素排出量の削減	×	2022年度は2021年度比の売上高が129%、新車販売台数が117%であった為、自動車燃料使用量も112.3%と増加してしまった。
廃棄物排出量の削減	×	上記、売上/販売増及び前年比人員増(107%)もあり、廃棄物の排出量も増加してしまった。